

東日本大震災・原子力災害伝承館 令和7年度 植栽管理業務 委託仕様書

1 目的

この仕様書は、東日本大震災・原子力災害伝承館（以下「伝承館」という。）の環境の保全と施設の維持を図るため、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構（以下「甲」という。）が委託して、受託者（以下「乙」という。）が行う業務の内容と要領を定める。

2 業務の履行

- (1) 乙は、業務を円滑に遂行し、施設の機能を十分達成できるよう、本仕様書、その関係書類に基づき、業務を誠実に履行しなければならない。
- (2) 業務の履行にあたっては、警備業法、労働基準法、労働安全衛生法、建築基準法、電気事業法、及び建築物における衛生的環境の確保に関する法律、環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水道法、下水道法、電話電信事業法、消防法、その他関係法令等を遵守しなければならない。
- (3) 乙は、服務規律等を厳正にし、甲に対し迷惑となることのないよう努めること。
本委託の業務従事者は、任務の遂行において、甲の職員及び他の業務従事者との良好な人間関係の維持に努力し、無用のトラブルを避けるとともに、来館者の対応に際しては、言語態度に十分注意すること。

3 実施期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

4 実施場所

東日本大震災・原子力災害伝承館敷地内（双葉郡双葉町大字中野字高田39）

5 業務内容

下記作業につき、植物の育成状況、季節に応じ、適切に実施すること。

なお、下記回数で植物の育成上不都合が生じる場合については、甲と協議の上、決定するものとする。

(1) 樹木管理

① 樹木の種類・本数・面積

別紙出来形表・竣工図のとおり。

② 作業内容および回数

剪定・刈込 ※集草・処分 含む	2回	高中木 27 本、生垣(H1.5m)95.3 m ² 、低 木類 297.86 m ² 、地被類 145.3 m ²
--------------------	----	--

除草(人力)※集草・処分含む	3回	566.46 m ²
施肥 化成肥料 年1回 固形肥料 年1回	1回	化成肥料 20 kg／袋×4 固形肥料 20 kg／袋×2
消毒散布	2回	500ml (薬剤スミチオン等)
灌水	月2回	7～10月の夏場

(2) 芝生管理

① 芝生の種類・面積

別紙出来形表・竣工図のとおり。面積は12,230 m²。

② 作業内容および回数

(ア)刈込高は、芝生が健全に育つのに支障の無い刈高を選ぶ。

(イ)薬剤散布方法については、周辺環境に配慮し、人間や動植物、水系等に影響が出ないように低毒性で安全性が高く、かつ散布効果の高い薬剤を選定する。芝生の状況を見極め、適期・適薬・適量を守る。薬剤については成分を明示する。

(ウ)施肥については、むらの無いように均一に肥料を散布し、降雨後等で芝の葉面が濡れている時は、作業を行わない。

(エ)芝の補植については、適時行うものとする。

芝刈※集草・処分含む	自動芝刈機の場合は随時、 人力の場合は年4回	対象面積 12,230 m ² (人力の場合、5～10月の期間に4回実施)
除草剤散布	2回	対象面積 12,230 m ²
施肥	1回	同上
補植・追肥	適時	同上
殺菌剤	1回	同上
殺虫剤	1回	同上
エアレーション	1回	同上
除草(人力)※集草・処分含む	2回	同上
目土	1回	摘要土 t = 0.2 cm内外 (発育状況による)

6 一般的事項

本委託契約に関する一般的事項は次のとおりとする。

- (1) 乙は、本委託契約締結後、速やかに着手届、連絡体制を甲に提出すること。
- (2) 乙は、作業完了時には、報告書により、直ちに甲の確認を受けなければならない。

- (3) 乙は、業務の実施にあたり、常に傷害事故及び火災その他の事故等が発生することのないよう十分に注意すること。
- (4) 本委託の業務従事者（以下「従事者」という。）は、作業中、常に清潔で利用者及び甲の職員等に不快感を与えない、一定の作業衣等を着用すること。
- (5) 従事者は、業務の遂行において、利用者及び甲の職員等に迷惑等がかかることがないように努めること。
- (6) 従事者は、業務の遂行に専念し、必要以外の場所に立ち入らないこと。
- (7) 従事者は、作業中における事故及び甲の建物、設備機器並びに備品等の破損・紛失・防止に努めること。なお、作業中に事故の発生あるいは甲の建物、設備機器及び備品等を破損・紛失したときは、直ちに甲に連絡してその指示に従うこと。
- (8) 作業に要する消耗品及び作業機材は、乙が用意すること。また、芝刈りについては、芝刈り機やロボット等を使用することも可とする。上記5業務内容で定めた回数以上を実施すること。本作業の費用として処分・運搬等に係る一切の経費を含むこと。
- (9) 作業の結果生じる、使用済みの消耗品及び作業機材の部品等の廃棄物は、乙の責任により処分すること。
- (10) 植栽の枯死や衰弱により植え替え等を必要とする場合は、速やかに甲に状況を報告するとともに、必要な処置を講ずること。
- (11) この間の植栽管理にあたり、必要な官公署への申請・届出・報告は乙が代行し、この場合の経費は乙の負担とする。
- (12) 乙は、受託業務の履行にあたり、他の業務受託者と常に連携を取り、伝承館の円滑な運営が可能となるように努めること。

7 再委託

- (1) 乙は原則として、委託業務の実施に関わる業務の全部または、一部を第三者に再委託してはならない。ただし、委託業務の実施のために合理的に必要な範囲で甲の事前承認を得ることを条件に再委託を行うことができるとし、この場合は、再委託の住所・氏名・再委託の範囲及び再委託先に関する管理方法等を、甲に対して書面にて提出するものとする。
- (2) 前項の場合は、乙は再委託先に本契約に基づく一切の義務を遵守させるとともに、甲に対して責任を負担することを条件とし、前項の目的の範囲以内でこれを必要とする者を限定して、甲の機密情報及び個人情報を再委託先に開示し、これを利用させることができるものとする。

8 業務管理

- (1) 乙は、本委託業務を遂行するにあたり、関連諸法令の基準に適合するよう業務を行わなければならない。なお、平常時においても非常時に備えて的確に対処できる体制を整

えておかなければならない。

- (2) 施設のトラブル等の発生または発生が予知される場合には、速やかに甲に連絡通報し、その指示に従わなければならない。

9 異常個所の通報

乙は、事故等を未然に防止するため、伝承館内の諸施設に異常があることを発見した場合には、その都度甲に報告するとともに、その指示に従って対処し、その経過及び結果を報告しなければならない。

10 その他

この仕様書に定めのない事項については、甲の指示に従うものとし、指示されていない事項であっても、社会通念上当然必要と考えられる業務等については、良識ある判断に基づいて行わなければならない。

11 疑義

この仕様書に疑義が生じたときは、甲、乙協議のうえ定めるものとする。